

でんぎの礎

－振り返れば未来が見える－

にほんごわーどぷろせっさ

日本語ワードプロセッサ(JW-10)

Word processor

モノ



①

1979年2月、かな漢字自動変換方式を採用した日本初の日本語ワードプロセッサ1号機(商標 JW-10)を東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)が開発・発売した。この日本語ワードプロセッサ JW-10は事務机ほどの大きさがあり、重さ約220kg、800VAもの電力を必要とし、価格は630万円であった。しかし、ひらがな入力が可能であったことから専門技能者も必要なく、さらに文章記憶と豊富な編集機能を有していたため、爆発的な反響・人気を呼び、その後の日本語ワードプロセッサの原型となった。その後、小形・低価格化が急速に進み、ワードプロセッサはオフィスだけではなく一般家庭にまで幅広く浸透したが、1990年代半ばに同様の機能を有したパソコンの低価格化が急速に進んだために2000年以降は姿を消した。

日本語ワードプロセッサ JW-10で培われたかな漢字変換技術とエディタの技術は、現在のパソコンや携帯電話など日本のあらゆるIT分野の漢字入力手段として引き継がれ発展を続けている。特に、かな漢字変換技術で開発された言語処理技術は世界中の象形文字の入力技術に大きな影響を与え、この技術史的・社会的価値は非常に高い。

- ☆顕彰先 : 株式会社東芝
- ☆展示場所 : 株式会社東芝 東芝科学館
- ☆所在地 : 〒212-8582
川崎市幸区小向東芝町1
- ☆電話 : 044-549-2200
- ☆ホームページ : <http://kagakukan.toshiba.co.jp>

TOSHIBA

「かな」で打つと「漢字」に変わる

「かな」で打つと「漢字」に変わる

東芝日本語ワードプロセッサ JW-10



②



③



④

(写真提供：東芝科学館)

- ① 日本語ワードプロセッサ JW-10
- ② JW-10 カタログの表紙
- ③ JW-10 カタログの一部
- ④ 東芝科学館での展示風景